

井草会報

2013 No.46

発行 井 草 会
練馬区上石神井 2-2-43
東京都立井草高等学校内

「2013同窓会」のご案内 — 井草の絆 いつまでも —

隔年開催で続けている同窓会の集いも、今回で9回目を迎えます。70周年を祝った前回の集いにも増して、井草の絆を深め合う楽しい会にしようと準備を進めています。

今回は、恒例の吹奏楽部現役生徒さんたちによる演奏に加えて、記念学年22回生によるバンド演奏も予定しています。懐かしい井草のキャンパスが、皆さまの心に蘇る集いになると思います。記念学年、招待学年の方々はもちろん、各学年、クラスのお仲間、先輩、後輩の皆さまと誘い合わせて、ぜひご参加ください。多数の同窓生の皆さまのご出席を心よりお待ちしております。



2011同窓会での歓談風景

日時：平成25年8月24日（土） 14:00 ～ 16:30（受付開始13:30～）
会場：池袋 ホテルメトロポリタン 3F「富士の間」（☎03-3980-1111）
会費：8,000円（ただし、記念学年及び招待学年の会費は以下の通りです）

長寿を祝って	高女4回生、5回生、高校1回生、2回生、3回生（S23年、S24年、S25年卒）	無 料
古希を祝って	高校14回生、15回生（S37年、S38年卒）	7,000円
還暦を祝って	高校22回生、23回生（S45年、S46年卒）	7,000円
卒業30年を記念して	高校35回生、36回生（S58年、S59年卒）	7,000円
新入会員を歓迎して	高校64回生、65回生（H24年、H25年卒）	2,000円

■ 2013同窓会の申込方法

☆同封の振込用紙で8月9日（金）までに参加費をお振込みください。なお、招待学年（高女4、5、高校1、2、3回生）で参加希望の方は、下記の連絡先へお知らせください。

☆振込領収書が入場券となりますので、当日お忘れなくご持参ください。

☆8月16日（金）までにキャンセルの方には、手数料（1,000円）を差し引いて参加費をお返しいたします。

☆連絡先：事務局 0120-066-193（FAX兼用）

なお、留守電の際は、氏名、卒業年、クラスを必ずお知らせください。

目 次

2013同窓会案内	1	クラブ活動めぐり	11
記念学年幹事からの呼びかけ	2・3	創立70周年記念事業報告	12
恩師からの便り	4	特集 井草会名簿管理について	13
OB/OGインタビュー（有希 九美氏）	5	広報委員会報告	14
同期会・クラス会・OB/OG会報告	6・7・8	幹事総会報告・予算決算	15
キャンパスニュース	9・10	井草会掲示板	16

記念学年の皆さん、参加するなら…今でしょ！

第9回目を迎える「2013同窓会」、『井草の絆 いつまでも』をテーマに準備を進めています。記念学年の皆さん、同期のお仲間と声を掛け合い、ぜひご参加ください。恩師、同期生との懐かしい高校時代の思い出話とともに、参加をきっかけとした新たなご縁によって、さらに絆が深まることを信じています。また、高校64回生（H24年卒）・65回生（H25年卒）の皆さんも、卒業後第1回目の同窓会に参加して、同期の近況と井草の歴史をぜひ体感してください。記念学年の皆さんの多数のご参加を心よりお待ちしております。

同窓会委員会委員長 田村 光孝（31E）

記念学年からの呼びかけ

祝 卒業30年

35回生（S58年卒）の皆様へ

「悲しいことがあると開く革の表紙」。私たちの卒業アルバムの最後のページを開くと、編集後記として「ユーミンの名曲『卒業写真』の一節にあるように、心のよりどころになればいいなあ、とひそかに思っています」とあります。卒業して30年。悲しい時ばかりではなく、楽しい時を思い出す時にも卒業アルバムを手に取ったことでしょう。

「自由の井草」と言われます。その一つには、お互いの多様な生き方を認め合い、コミュニケーションを取る。相手を思いやり、おしゃべりする校風があると思います。井草高校は、勉強、スポーツ、恋愛などと併せて在学中から集まりも盛んだったような気がしています。

30年を機に同窓会が開かれます。みんなで集まれるきっかけになればいいなあ、とひそかに思っています。「あの頃の生き方をあなたは忘れないで

あなたは私の青春そのもの」。あの頃の自由な生き方を忘れない人、忘れてしまった人、そもそも自由な生き方が嫌いだった人など多様な同窓生との再会が楽しみです。まもなく50歳。出欠にかかわらず、悲しい時は励まし合って過ごしていこうね。

幹事（カッコ内旧姓）

A組：郷 B組：高田 C組：山口・夏目（高橋）
D組：樋口 E組：吉田 F組：新妻・幡野（本間）
G組：武田 H組：中村・篠田（宮沢）
I組：松村

祝 卒業30年

36回生（S59年卒）の皆様へ

今年の同窓会では、36回生は1学年上の35回生とともに卒業30年の記念学年ということで、多くの参加者を募っています。1学年上の先輩と30年ぶりに再会できる絶好の機会でもあります。2年に一度開催される井草会の同窓会は、井草高校の同期生同志の横の繋がり先輩・後輩同志の縦の繋がり、そして恩師の先生方を結ぶもので盛大に行われています。

都立高校は少子化の影響により、多くの学校が統廃合となっています。そういった状況の中、井草会は母校の発展への協力、同窓生の親睦を深めるために活動しています。同窓会は同窓生の親睦を深める大切な会なのです。井草の伝統を感じ、そして再会と新たな出会いの場になるものと思います。

同期のお仲間とお誘いあわせのうえ、ぜひご参加下さい。ホテルメトロポリタンでお待ちしております。

同窓会委員会 記念学年担当



卒業30年記念学年の集合写真(前回)

井草会援助金制度 のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けていますので、どうぞご利用ください。

援助金は、30名以上の同期会、15名以上（65歳以上は10名以上）のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。援助額は、千円／人ですが、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの申請とさせていただきます。

また、財政上の理由から今年度は、昨年と今年の2年連続しての申請はご遠慮していただきます。

ハガキかFAX、または井草会ホームページの援助金事前申請用紙に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名（卒年・組）を明記し、必ず開催日の1週間前までに申請してください。

事前申請の受付終了後に、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。

この制度は、会員の年会費によって賄われています。年会費の納入に、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ・申し込み先】 井草会同窓会委員会 〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-2-43 都立井草高校内
TEL/FAX 0120-066-193 井草会メールアドレス igusa@igusakai.org

祝 還暦

22回生(S45年卒)の皆様へ

昨年還暦を迎え、第二の人生のスタートラインに立ったであろう同期の皆様。同窓会を通じて旧交をあたためませんか。懐かしい人、若い日に感動を分かち合った人、気になっていたあの人に再会してみませんか。

入学までもない頃、校門の八重桜が目まぶしかった。卒業式の騒乱もあの時代を生きていた実感として思いだせます。かけがいのない3年間で共に過ごした同期生は大切な宝といえるのではないのでしょうか。

8月24日(土)の同窓会はあなたの交流の場を広げ、これからの人生をより豊かに暮らす発展の場となるかもしれません。

お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

幹事(カッコ内旧姓)

A組: 小林・鹿子嶋(石葉) B組: ニノ宮
C組: 西・中川(細井) E組: 斉藤
F組: 平田 G組: 堀野・星野(鈴木)
H組: 松本・山中(荒木) I組: 櫻井・影山(丸山)

祝 還暦

23回生(S46年卒)の皆様へ

いよいよ12年振りの同窓会です。前回、2001年8月18日は、多くの方々が新宿京王プラザに集まり、懐かしい顔を合わせました。当日の同期会では、“伝説”のバンドDay's Climaxの再結成コンサートも開かれました。パンフレットの見出しは、「また会えた」でした。以来、同期の仲間が集まる機会はずいぶん増えました。気兼ねも見栄もない「あの頃」の友人たちは何にも代えがたいタカラモノです。60歳を越えて、ますます面白い年代に達した23回生の皆さん!今夏、池袋で会いましょう。二次会も予定しています。

幹事(カッコ内旧姓)

A組: 大隈(卯都木)・熊倉・奈倉
B組: 矢島(安藤)・山際
C組: 及川・太田・菊地
E組: 佐伯(笠井)・藤井
F組: 中村・日野(田島) G組: 赤城
H組: 遠藤・吉田(鶴飼)
I組: 大高(宇都宮)・川人

祝 古希

14回生(S37年卒)の皆様へ

我々は、井草高校を卒業して52年、杜甫の「人生七十古来稀なり」という年齢を迎える。それを記念して、井草高校同窓会が祝ってくれるという。

先日、母校井草高校を訪れた。立派になっていた。2階の渡り廊下にたたずみ中庭を眺めた。良く整備されていて美しかった。55年前の昼休み、この中庭いっぱい、先輩達がフォークダンスを踊っているのを見て驚いたものだ。井草は、自由な校風であった。我々はそこで十分に青春を謳歌した。社会に出た我々は、次々厳しい戦いを強いられたが、井草で培った精神力と絆で乗り切った。そして、今は静かにその疲れを癒している時ではないだろうか。この度、我が青春時代の3年間を、同じ場所で共に送った仲間が、一堂に会す機会を得た。同期生だけのテーブルを配してくれるという。さあ、共に集い、大いに語ろうではないか。愉しく飲んで歌おうではないか。必ずや明日へのエネルギーが湧いて来るに違いない。

幹事(カッコ内旧姓)

A組: 岡(五十嵐)・近藤・木村
B組: 明田川・磯崎 C組: 落合(臼井)・五島
E組: 片山(中谷)・國分(坂井)・澤・林
F組: 十河 G組: 中村(岡部)・原・丸山

祝 古希

15回生(S38年卒)の皆様へ

なんと月日の経つのは早いものでしょう。今年、私達は卒業50年の節目を迎えます。信じがたいことですが、今回の同窓会では、「古希の記念学年」になります。思い起こせば、8年前の還暦の記念学年の年に、15回生の同期会が発足、その後、各クラスの垣根を超えて、毎年色々なイベントを行い楽しむようになりました。会って4、5分あ〜だ、こ〜だと話すだけで、高校時代に戻れるチャンス。2013同窓会に、ぜひ参加してみませんか。仲の良いクラスメートも誘ってみてはいかがでしょうか。

幹事一同、心より皆様をお待ちしております。

幹事(カッコ内旧姓)

A組: 星野・今井(保谷)・杉本
B組: 森田・中村(清田)
C組: 飯塚・鴨志田(斎藤) D組: 瀬戸山・立花
E組: 井上・大藤・旗 F組: 作田・熊谷(斎藤)
G組: 小泉





恩師からの便り

5月20日現在 敬称略 【在職年 教科】★印はご出席

8月24日開催「2013同窓会」案内状の返信葉書に書き添えていただいた、先生方の近況報告を抜粋してご紹介いたします。なお、紙面の都合上、内容を一部割愛させていただきました。

★毛利 和夫 【S25～38 社会】

不具合のポンコツ、半年先はままならず。足腰たてば、なつかしい皆さんにお会いしたい思いしきりですが。平成はツマラン！ 正真正銘の昭和元年生まれ。昭和20年敗戦。25年新卒ホヤホヤで井草高校へ。男女共学の初年でした。‘センセ、せんせ、それは先生…’（森昌子）。‘赤い夕陽が校舎をそめて…ぼくら別れ別れになろうとも、クラス仲間はいつまでも…’（舟木一夫）。なつかしいネ…。それでも‘川の流れのように…’ 歳月はさりゆき…。きりがない。暴走老人のタワゴトでした。

大隅 芳秋 【S25～43 社会】

昨年12月上旬より療養中です。

高橋 博 【S26～27】

わずか1年の在職ではございましたが、上京の折には井草に立ち寄っております。現在は、白砂青松の瀬戸内の景色を眺めながら、伊予柑作りをぼつぼつやっています。老化防止に下手な短歌を詠んでいます。

★大浦 暁生 【S31～36 英語】

この4月で82歳ですが、元気です。月2～3回は東京へ出ます。若い人たちとアメリカ文学関係の研究会をするのが楽しみです。

★小田島 哲哉 【S31～38 国語】

教室の黒板の横に貼っておいた、「一生懸命」の文字を毎朝見たこと、今でもその教えを守っていると言ってくれる可愛い生徒に、何としても逢いに行きたい。当日が楽しみです。逆縁の悲しさ辛さを思い知らされている孤老なれど、教育関係の会長、顧問をしている85歳です。

★平井 英一 【S36～49 社会】

元気で老人クラブの仕事をしています。現在、練馬区内には100才以上の老人が242人います。

本多 芳江 【S39～45 書道】

昨年は井草会報に文章を載せて頂くハプニングがあり、かつての生徒の方々と電話でお話をしたり、お手紙を頂いたり、大変うれしい時間を持てました。当時若かった私(?)も、古希を過ぎ高齢者の仲間入りです。心身の衰えは如何ともしがたく、皆さんと会う勇気がありません。心の中で同じように若かった高校生の頃の姿を懐かしく温めていますから…

★荒田 政和 【S39～55 英語】

77才になりましたが元気です。写真を撮りに国内、海外に出かけています。

★福島 達雄 【S40～47 英語】

今年の寒さは大分こたえましたが、どうにか息災です。福島美恵子先生が昇天されて淋しい限りです。

山田 稔 【S40～53 英語】

11月で82歳になります。時々、井草会報を持ち出しては、当時の校内の出来事などを思い出しています。特に昭和44年の高校紛争は忘れられません。

★鎌田 敏雄 【S42～52 数学】

元気でおります。相変わらず製本に励んでいます。

岩寄 英子 【S43～50 理科】

62年に退職して沖縄で紅型染色を学び、染色作家として、個展・グループ展を開いたり、フランスのニース展にも出展しました。最近は体調をくずし、外出を控えています。

★高部 訓武 【S50～58 社会】

元気です。

★天野 さゆり 【S52～63 社会】

定年退職後、両親の介護生活に追われています。

★菊地 広志 【S53～63 国語】

地元のお年寄りたちと交流しながら、のんびりと毎日を過しております。懐かしい人たちの顔を思い浮かべながら、同窓会を楽しみにしております。

★金城 和貞 【S54～H3 体育】

都立小平高校に勤務しています。当日は、S58年卒I組のみなさんとお会いできることを楽しみにしています。

★小坂 明子 【S56～H10 英語】

出席いたします。

相沢 健夫 【S59～H11 英語】

今年で74歳になりますが、この8年は外国人のボランティア・ガイドを続けていて、すでに300人以上の外国人に会いました。

鈴木 みち子 【S61～H13 社会】

博物館友の会に加入し、江戸時代の史跡を訪ね歩いたり、古文書講座やセミナーに出席したりしています。

松澤 亮 【S62～H10 数学】

男声合唱、マジック、のこぎり演奏などで忙しい毎日です。後期高齢者となりましたが、元気でやっています。校門の近くに埋めた「タイムカプセル」を開くときには、ぜひ行きたいと思っています。

杉山 有 【S63～H2】

江戸川区の「子ども館」で小学生を相手に顕微鏡講座を開いています。

松元 敏雄 【S63～H11 数学】

現在は、井草高校の近隣住民として校舎西側の区民農園で、野菜を作って楽しんでいます。

樋口 兼久 【H6～16 社会】

現在は、おうめ環境市民会議の一員として、青梅の森・市民ボランティア講座を市と協力・共同して、里山保全に取り組んでいます。

野村 健一 【H11～23 体育】

異動先の「豊島」で何とかやっています。やっぱり「井草」はイイなあ…

★佐藤 光一 【H14～17 副校長】

退職後、ものづくり大、二松学舎大、文科省、経済同友会と忙しい日を送っています。

★黒澤 正信 【H17～25 数学】

出席いたします。

★浅井 嘉平 【H23～25 校長】

出席いたします。

OB・OG インタビュー



有希 九美 (二ノ宮 美恵子) さん 22回B組 (昭和45年卒)

劇団浪漫劇場俳優養成所出身。時代劇からミュージカルまで、女優、ナレーターとして数々の舞台・テレビに出演し、役柄もシリアスからコミカルまで幅広い。歌手としての実力も高くコンサート、ライブ、ディナーショーなど精力的に活動。主な出演作品は、『ルーベンス・キス』『ピアフ』『魔女の宅急便』『オペラ座の怪人』『ジキル&ハイド』『HONK!』『屋根の上のヴァイオリン弾き』『長七郎天下御免』『ナニワ金融道』など。

6月に『ヘッダ・ガブラー』の舞台公演を控えて何かとお忙しい有希さんに、「2013同窓会」の会場となるホテルメトロポリタンの喫茶室でお話を伺いました。

Q. 高校時代は演劇部の活動に熱中されていたようですが?

部員は女子ばかり、それも8名ぐらいだったので、舞台や道具作りが大変でした。1年先輩の男子が1名、部に籍を置いてくれて手伝ってくれましたね。あまりに昔すぎて演目は思い出せませんが、ギリシャ悲劇めいた翻訳劇を文化祭で演じたりしていました。

Q. 演劇の道に進まれたきっかけは?

幼い時から人見知りで、自分から他人に話しかけることもできずに、家でひとり遊びばかりしているような子どもだったので、両親が心配して劇団に入れてくれました。でも、なかなか周りへ積極的に働きかけるようにはなりません。中学3年の時に、男子から「君って、おとなしいね」と言われて、おとなしいイコールつまらない人間と言われたように感じたんです。それで、自分以外の人になりたいという変身願望に火がついて、役者になって演じたいと思うようになりました。

Q. 今まで出演された作品の中で特に印象深いものは?

ブロードウェイで『ジキル&ハイド』を観て、思わずゾクッと鳥肌が立ちました。歌がどれもすばらしかったです。それから3年後に日本上演が実現し、出演できて嬉しかったですね。2002年に日本初演となった、イギリス人の演出家による『HONK!』(みにくいアヒルの子)で一人七役を演じたことも忘れられません。快演と評されました!それから、『魔女の宅急便』に出演した時、ぎっくり腰で激しい腰痛をかかえたまま舞台を続けることになり、同じく腰痛になった主演女優さんと、劇場近くの治療院で、ベッドを並べて毎日治療を受けながら出演したことも印象に残っています。客席の家族はハラハラしていましたが、当然お客様には気づかれず舞台を無事につとめました。

Q. 日頃、健康維持などで気をつけていることはありますか?

職業柄、うがい・手洗い・乾燥予防は、基本中の基本ですね。地方公演中は、ホテル暮らしになりますので、エアコン対策には気を遣います。加湿器の確保で、台数に限りがある時には、争奪戦になることもあるんですよ。昨年、自転車の転倒で脚にかなりの怪我を負ってしまい、

リハビリのためにストレッチにも励んでいます。正座ができなくなったら、時代劇をやれなくなってしまいますものね。

Q. リフレッシュのために何かご趣味などお持ちですか?

最近は、ジャズダンスに熱中しています。振り付けを覚えなければならぬので、頭の老化防止のためには最適です。「剣は、いつ抜いても使えるように常に研いでおけ」って言いますものね。(笑) 近所の天然温泉にある、よもぎを焚きながらのミストサウナは最高の気分転換になります! 中学生の頃から続けていた大好きなテニスは、近頃は相手がなくて、ラケットはインテリアになってしまいました。

Q. 今後ご自身の目指されるお仕事の方角性について抱負をお聞かせください。

一番のファンである母が、脊椎を痛めて劇場へ足を運べなくなってきたので、家でDVDを見られるように映像出演を増やしたいと思っています。また、文化的な歴史も環境も違うと思いますが、海外では大人が楽しめる重厚で良質な舞台が多いので、そうした作品を日本に紹介、上演したいですね。『生涯青春 生涯現役』をモットーに、生かされていることに感謝し生活感のある役者として演じ続けていこうと思います。おかげさまで、歌のファンも多いので、ライブは定期的に取り組んでいくつもりです。

Q. 音楽や舞台の道を目指そうと思っている後輩たちへ、先輩として何かアドバイスは?

職業として選ぶには、すごく大変な世界なのでお薦めはしませんが、本当に好きで、敢てやろうと思うなら、常に前向きな気持ちと根気が必要だと思います。それと、芸は人となりが出るので、自分の人間磨きも大切ですね。

Q. 「2013同窓会」では記念学年となりますが、同期の仲間たちへメッセージをお願いします。

そろそろ「あの時会ったのが最後だったわね」という年齢になってきました。持つべきものは友達、幼馴染。できることなら、いつまでも元気で若々しくいられたら。そして、会える時は迷わず会って、いずれ縁側(?)でお茶を飲めたら幸せ!



2012年度 同期会・クラス会・OB/OG会報告

紙面の都合により、一部原文を短く編集しています。



同期会

高女1回同期会

2012年5月21日
銀座アスター

金環日食の日に、銀座4丁目で集まり、昼食を摂りながら、楽しい団欒が繰り広げられた。高女1回生は80歳を超えているが、皆若々しく華やかで、有楽町まで歩き、交通会館でコーヒータム。1時間に1回転する11階から、移りゆく銀座の街並みを眺めて解散となった。
(高女1回 佐藤治子)



高校6回同期会

2012年10月16日：代々木倶楽部

人生三冠（還暦、古稀、喜寿）達成をキャッチフレーズに第15回同期会を開催した。健康談議の後、熱き血潮をたぎらした60年前の井草を源流とした「伏流水」を遡り、想い出話に花を咲かせ旧交を温めた。最後に、「年は寄れども心は寄らず」の言葉のように、力強くなつかしい校歌を斉唱し健康を祈念しつつ、またの再会を約し閉会した。
(6A 藤田秀夫)



高校18回同期会

2012年6月23日：銀座東武ホテル

前回の同期会は、同窓会の記念学年だった還暦の年でした。次の記念学年は古希の年になるので、それまで待てないよとの声があがり、「古希まで待てない同期会」を開催することになりました。

久しぶりの再会を肩をたたき合って喜び、何度も顔と名前を確かめ合って記憶の糸を手繰り寄せ合い、足早に逝ってしまった旧友の思い出をしみりと語り合い、会場は、笑顔と涙と何度もあがる乾杯の声で満ち溢れました。最後は、みんなで校歌を歌い、なつかしい井草のキャンパスで過ごした青春時代を思い出しながら、すっかり高校生気分にもどり、また元気で再会しようと誓い合って散会となりました。

(18E 中村啓子)



高校33回同期会

2012年9月8日：池袋 ホテルメトロポリタン

昨年の学年会が非常に好評だったことを受け、今年は昨年欠席なされた山本光子先生、川口久美子先生、渡部正輝先生方に加え、元体育ご担当の小川敏子先生の4名にお出で頂き、教え子と交流を深めました。今回は、1年時のクラスで集まり、初めは「同級生だったっけ？」と話をしているうちに再会を喜ぶ風景があちこちで見られました。お開きの時間を過ぎてても名残惜しい様子で、仲間と談笑する姿が見受けられた。

(33C 加藤康正)



高校42回同期会 2012年11月17日 芝公園グランドホテル

2012年2月のG組クラス会をきっかけに、同期会を計画。各クラスの幹事を選任して、以降4～5回程度の実行委員会を開催。案内状の発送や会場選定等は代行業者「同窓会本舗」に依頼。担任の先生方が年に一度集まっているため、10月の集まりに幹事数名で招待状を持参して、サプライズご挨拶など同期会前のお楽しみ企画も実施。当日は、高校時代に流行った曲のバンド演奏や先生をヴォーカルとしたバンドとの即興演奏、先生のフラダンスなど大変盛り上がった。高校時代にはさほど交流がなかった幹事同士の付き合いも深まり、企画は大成功に終わった。

(42 I 田場暁生)



高校4回E組 2012年10月18日：神楽坂ラリアンス

抗がん剤を打ちながら出席した方、東北の大地震に遭われた方も元気に出席、また、奥の細道を深川を出発点に全て巡り終えた方等、近況を語り合いすっかり気分は高校時代に帰りました。些細な事にはくよくよせず、真直に先を向いて次に進んでいると、生きる力、楽しみを頂きました。「来年もお会いしましょう」で名残を惜しんで閉会。その後、神楽坂を散策したり、買い物を楽しみました。

(渡辺信子)

クラス会



高校8回C組

2012年5月20～22日

休暇村 裏磐梯

昨年の大地震で旅行の予定が一年持ち越しになりましたが、少しでも東北に『力』をということで福島への旅行を実行しました。

ギリギリになって家族の病気等で参加人数が少なくなりましたが、東京からバス一台チャーターして「裏磐梯休暇村」に二泊。猪苗代湖、鶴ヶ城見学等々大いに楽しむ事が出来ました。また十人で一つの眼鏡をまわしながら、日食を大騒ぎして見たのも大きな思い出となりました。

(小林薫子)



高校10回A組

2012年4月21日

今回は男女7名ずつの14名でしたが、午後のひとときを井草時代に帰って楽しく過ごすことができました。古希を過ぎて2年。皆さんと共に過去ではなく未来を見て生きてゆきたいと思えます。最後に大高さんの音頭で校歌を斉唱して散会しました。

(佐藤昭彦)



高校10回E組

2012年11月5日：秩父民宿「はまだ」

秋晴れの中、秩父33観音「23札所音楽寺」を参拝。秩父ミュージックパークで紅葉の散策路を1時間程歩きました。銀色に輝く銀杏並木の素晴らしい光景は心に残りました。民宿「はまだ」で、秩父名産の新そばと、食べ切れない料理を堪能。心ゆくまでクラス会を楽しみ、来年の再会を約束して別れました。

(津江慎弥)



高校13回D組

2012年4月1日：小石川後楽園涵徳亭

連絡先の分かるクラスメートの7割弱が参加した今回は、今まで以上に盛り上がりしました。冒頭、物故者5名に黙祷を捧げました。近況報告は悲喜こもごもの話題ながら、お互いが共感し、楽しい時を実感することができました。

(原澤利弥)



高校13回F組

2012年9月8日：中野サンプラザ

青春を共にした旧友と古希を祝う「古希の集いクラス会」を開きました。出席者は、宮崎、神戸、宇治、そして仙台と遠方からの方、また卒業以来の方など、総勢23名が参集しました。

近況報告では、年齢を感じさせない、日々の活発な行動が数多く紹介されました。我らの仲間では「人生七十古来稀なり」は、まだまだ先の事と感じあったクラス会でした。

(関根成憲)



高校14回G組

2012年9月15日：上井草 玄蘆

井草祭に併せてクラス会を開催。出席者の中の4名が井草祭にも来て同窓会のブースの写真展を見たり、後輩の活躍ぶりを見たりで、有意義に過ごしたようです。1年半ぶりのクラス会でしたが、いつものように高校生に戻ったような楽しいクラス会でした。

(原 京)



高校15回E組

2012年11月10日
京王プラザホテル レストラン 麓屋

顔を見た瞬間男性は〇〇君、女性は旧姓で呼び合い、「〇〇君は〇〇さんを好きだったんだって!!」「〇〇先輩すてきだったね」とか・・・高校時代に戻っていました。昼休みのキャッチボール、フォークダンス、ボンファイヤーと思ひ出話はつきないのですが、最後はやはり健康第一！に落ち着きました。

(細田洋子)



高校15回F組

2012年5月19日：四谷 スクワール麹町

何十年ぶりに参加の人もあって高校時代に帰りやかな懇親会となりました。さらにほとんどの人がその後の喫茶&飲食にも参加し、会話とアルコールのちゃんぽんで長く楽しい一日となりました。

(作田豊彦)



高校20回I組

2012年7月7日：エビスビアステーション

ビアステーション館長竹林明君(27回卒野球部OB)の配慮により、エビスビールの誕生の見学及び詳細な案内をしていただき、さらに飲み放題のプランを割安にいただきました。他のクラス会にもオススメです。

(寺谷敬介)



高校26回D組

2012年10月27日：新宿 京王プラザホテル

一次会・二次会とも同じ場所で計4時間でしたが、それでも話し足らず、三次会にもほとんどのメンバーが移動しました。次回は、還暦祝いをかねて再開する予定です。

(岡田雄一郎)



卓球部OB会

2012年9月1日

井草高校体育館、上井草青柳

午前中卓球の試合(現役とOBの混合の団体戦)を行い、午後試合終了後、約20分現役とOBの自己紹介とミーティングを行ったあと、OB/OGで上井草の青柳で打上げを行いました。今年は、全日本学生選手権大会のダブルスで優勝された上田先輩が札幌からわざわざこの日のためにご出席下さいました。

(21D 植木謙)

OB・OG会



硬式野球部OB会

2012年6月24日

ビアステーション恵比寿

今年は1期生が卒業して60年という節目の年に当たり、大いに盛り上がりました。当初、その1期生もご参加いただける予定でしたが、急遽欠席ということで、少し残念でした。出席者全員で思い出話を花を咲かせました。また、その際現役選手達へ激励の意味を込めて、硬式ボール3ダースを寄贈させていただきました。

(18C 小野良和)

キャンパスニュース

井草のめざす教育

都立井草高等学校長

宮本信之



平成25年4月に井草高等学校長を拝命いたしました宮本信之と申します。井草会の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。創立70年を超える伝統ある井草高校の一員となり、緊張の1ヶ月を終えたところですが、心温かな生徒と先生方、また同窓会、PTAの皆様を支えられ、順調にスタートできました。ありがとうございます。

諸先輩方と同様に、現在の井草高校生も伝統に負けず充実した高校生活を謳歌しております。入学式には井草会の皆様から新入生全員へ校章バッジを頂戴し、今年度の新入生も井草の伝統を担う一員としての自覚を持って高校生活を始めることができました。お心遣いありがとうございました。

数ある都立高校の中でも、井草高校は自主・自律の精神の基に勉学にも部活動にも積極的に取り組む優秀な生徒が集まっています。しかし、伝統や自主性だけでは社会の発展や国際化をリードしていく人材は育てられません。学校の教職員の努力はもちろんですが、地域、同窓会の皆様にご支援いただきながら、先進的な教育活動を実施していかなければなりません。青春を謳歌するのは若者の特権ですが、次世代のリーダーを着実に育てる井草高校を作るのは我々の責任と感じています。国際理解教育、奉仕、井草夢プロジェクトなどを通して、広い視野と、しなやかな心を持った若者を育てていきたいと考えています。

諸先輩方がそうであったように、一生の土台となる高校生活は、思い出としては楽しいものですが、ただただ中にいる高校生には厳しい面も必要です。井草高校での学習は簡単に乗り越えられるハードルではないと考えています。部活や行事に燃え、友人たちとの語らいを大切にしながら、高い目標を実現するという両方を目指すところに井草高校の姿があります。難しいことこそ挑戦する価値があります。生徒にとって挑戦しがいのある井草高校であり続けたいと思います。井草会の皆様には、機会がございましたら是非、現役生徒を激励いただき、今後とも思い出の地である井草高校の発展のため、お力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2013年進路状況・合格状況

(既卒者、推薦入学を含む合格者数)

国公立大学 (4 名)

筑波 1 電気通信 1 東京外国語 1 横浜市立 1

私立大学 (480 名)

東洋 46 日本 41 駒澤 19 法政 17 学習院 14 東京経済 14 東京電機 14 成蹊 13 武蔵 12 明治 12 帝京 11 亜細亜 10 工学院 10 東京家政 10 青山学院 9 武蔵野 9 明治学院 9 立教 9 中央 8 昭和女子 7 白梅学園 7 東京農業 7 武蔵野美術 7 大妻女子 6 北里 6 国士舘 6 成城 6 東海 6 東京工科 6 東京女子 6 東京都市 6 杏林 5 國學院 5 上智 5 大東文化 5 日本女子 5 明星 5 拓殖 4 玉川 4 多摩美術 4 目白 4 跡見学園女子 3 慶応義塾 3 専修 3 帝京平成 3 文京学院 3 立正 3 学習院女子 2 神田外語 2 共立女子 2 芝浦工業 2 十文字学園女子 2 城西 2 女子栄養 2 津田塾 2 東京理科 2 日本赤十字看護 2 日本体育 2 文化学園 2 和光 2 神奈川 1 産業能率 1 実践女子 1 女子美術 1 清泉女子 1 創価 1 千葉工業 1 デジタルハリウッド 1 天理 1 東京有明医療 1 東京医科 1 東京家政学院 1 東京工芸 1 東京薬科 1 東邦 1 東洋英和女学院 1 獨協 1 二松学舎 1 日本社会事業 1 日本獣医生命科学 1 武庫川 1 明治薬科 1 山梨学院 1 横浜薬科 1 酪農学園 1 流通経済 1 麗澤 1

短期大学 3 名 専門学校 21 名

先生の異動

転 出			転 入		
教科科目	氏 名		教科科目	氏 名	
校 長	浅井 嘉平		校 長	宮本 信之	
国 語	相川 恵子		国 語	小堀 理花	
国 語	森田 幸子		国 語	阿部 結	
数 学	黒澤 正信		数 学	國府 健太郎	
保健体育	柳 浦 康宏		保健体育	町田 清	
英 語	板垣 厚子		英 語	今村 和世	
日 本 史	前川 清一		経営企画室	浜田 豊三	
経営企画室	鈴木 恭子				



初の海外修学旅行

主任教諭 荒井 剛

昨年12月に本校初となるシンガポールへの海外修学旅行を実施いたしました。この試みは、国際理解教育の一環として、これまでの英語学習の成果を実際に試すことと異文化体験をすることを主な目的として計画いたしました。

実施場所については、様々な制限の範囲内で「英語を公用語とし、かつ治安衛生面でも問題のない場所」として、シンガポールを選定しました。正味3日間ある行動の半分は、生徒たちが自主的に決めることになり、時間をかけて計画を立てました。このようなことができるのも、治安の良いシンガポールならではと言えるでしょう。

第1班（A・B・E・F組）は、12月5日に出発し、夕刻にシンガポールに到着。2日目の午前はシンガポール大学、午後は市内各地、夜はナイトサファリ見学と、終日シンガポールの大学生と交流しながら過ごしました。3日目は、キックマン工場・みずほ銀行・ジョホールバル（マレーシア）・ヤクルト工場を見学。4日目は、終日シンガポール市内を自主研修し、深夜にシンガポールを出発。翌日の朝、成田へ到着。

第2班（C・D・G組）は、12月6日に出発し、夕刻に到着。2日目は、国立植物園・ニューウォーター・

SENOKO（ゴミ焼却場）を見学。3日目は、終日シンガポールの大学生との交流。そして、4日目は、市内を自主研修し、深夜にシンガポールを出発。翌日の朝、成田へ到着。

修学旅行を終えて、まず思うことは無事に終わって良かったということです。健康問題等、全くトラブルがなかったわけではありませんが、これらをクリアできたのは、旅行会社や現地医療機関の素早い対応のおかげです。

「もう少し英語が話せるといった」「英語で話す機会が思ったより少なかった」などの生徒たちの感想を聞くと、まだまだ改善の余地はあるだろうと思いますが、現地での生徒たちの盛り上がりを見ると、おおむね成功だったのではないかと思います。



学校運営連絡協議会に出席して

井草会顧問 遠矢良隆（6A）

学校運営連絡協議会は、学校経営に関する様々な意見を聞くため、都教育委員会の委嘱を受け特色ある学校作りを目指し、母校の発展を支援する組織です。

委員は、学校側からは校長はじめ主幹教諭、各学年主任、外部委員には有識者として、大学教授、教育経験者、地域代表とPTA、同窓会代表などのメンバーで構成されています。

「井草高校のめざす教育は何か?」、「他校にはない特色ある教育の具体的な方策」などの課題に、生徒・教職員・保護者を対象に毎年行われている「学校評価アンケート」の結果に基づいて検討し、学校改革の促進に役立てています。

平成25年度学校案内には、井草高校がめざす教育の柱として学力向上プロジェクト、国際理解教育プロジェクト、夢プロジェクトの三つのプロジェクトが掲げられています。

学校運営連絡協議会は、これらの教育活動への取り組みを成果に繋げられるように支援しています。なかでも平成15年から始まった「国際交流プログラム」には、同窓会が積極的に母校と協力、連携し、情報を共有して寄付金などの資金的援助を行うなど、母校の発展に大きな貢献をしています。

一方、東京都教育委員会による学校運営診断（「学校経営報告」に対する評価）では、厳しい評価査定がされていて、たとえば、生徒募集、広報活動の質的向上の要望で、学校案内やホームページなどの情報があまりにも貧弱であり、一刻も早い工夫・改善を期待するというコメントが出されました。会議でも学校側の情報発信の問題点改善に苦慮していましたが、同窓会がこの問題の改革にいち早く係わり、学校のホームページのリニューアルに、資金（30万円）および技術面での支援を行いました。実際、昨年7月からの井草高校のホームページは大きく変わり、アクセス数も急増しています。

こうした会議を通じて同窓会が学校と課題を共有し、学校と同窓会がより深い絆で結ばれながら、お互いの立場から共に井草高校の発展に寄与するよう努力しています。

皆様のご協力、ご理解を得られる形で母校への協力支援を継続してゆくことが、私たちの責務だと考えています。

クラブ活動めぐり

剣道部

数年前まで、部員が0～2人の学年もあったようですが、現在は、3年生男子5人、2年生男子7人。1年生は男子5人・女子2人が入部し、計19人で、月・水・金に剣道場で、誠意稽古に励んでおります。（予てより引き続き、火・木は卓球部が使用しております。）

平成24年3月、7年間顧問・指導を担当してくださった、保健体育科の佐々木寿子先生が転出されました（都立鷺宮）。後任顧問では、指導力不足が否めず、東京都人材派遣バンクより、益田博先生（教士7段）に外部指導員として、月に1～2回ご指導いただくことになりました。今年度の目標は、支部予選大会を勝ち上がり、都大会に出場することです。

また、昭和48年卒業生の藤村則夫様を中心に、1年に2回程、OB稽古会を開催しており、多くの卒業生と現役生と一緒に稽古をする（ご指導いただく）機会を作っていました。（前回は25年3月に開催）丁寧な稽古・アドバイスをいただけて、現役生の励みになっています。

平成23年10月に行われた創立70周年記念式典でご講演をいただいた、アサヒグループホールディングス株式会社代表取締役副社長の本山和夫様も、剣道部でご活躍だったとのこと。後輩現役部員にも、卒業後も社会で活躍できる人を目指し、文武両道で頑張らせたいと考えております。

これからも、卒業生の皆様に応援していただけたら幸いです。

剣道部顧問 古屋 知子



ダンス部

ダンス部は、部員数が65名（3年 26人・2年 19人・1年 20人）の井草高校で最も部員数の多い部です。活動場所に困るという悩みはあるものの、明るく・元気に活動しています。

本年度は、まず7月の日本高校ダンス部選手権に出場し、決勝進出を目指します。

ダンスを通して得られる物事に対する取り組み、礼儀、感謝する心を最も大切なものと考えております。

今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

ダンス部顧問 高橋 洋一
阿部 結



昨年7月に「しもしゃく祭り」で
ヒップホップダンスを披露するダンス部員▶





創立70周年記念事業へのご支援ありがとうございました

平成23/24年度を中心に3年間70周年記念事業を展開してきましたが、学校／PTA／同窓生の皆様のご尽力により、無事、各事業を成功裏に終わらせることができました。当初、記念事業協賛金は目標額に届かないのではと心配しましたが、この3年間でほぼ予定額に達しました。記念事業では、「記念同窓会」、「記念式典・記念祝賀会」、「在校生への校章バッジ贈呈」、「同窓生の思い出文集」、「記念回顧写真展（井草祭）」等を行いましたが、それぞれの場面で井草会の存在価値を高め、また、これらの事業を通して学校（教職員・在校生）・PTA・同窓会（同窓生）の間での「井草の絆」がより一層強くなったと思っています。これらの事業を担当して頂いた同窓会関係者の皆様に感謝申し上げます。残された事業の東日本震災義援金拠出（今年度）、同窓会事務所開設準備は継続とします。最後になりますが、これからも同窓会活動に多大なるご協力をお願い致します。

井草会 会長 月岡健一（17G）
事業委員長 谷 明（7D）



校章バッジを在校生に贈呈

創立70周年記念事業報告



1. 70周年記念同窓会

平成23年8月 ホテル・メトロポリタン
吹奏楽部現役生にOB・OGが参加。力強い演奏を披露

2. 記念品贈呈

平成24年8月 校章バッジを在校生等に贈呈。

3. 記念式典 平成23年9月 杉並公会堂

東京都教育委員 瀬古利彦さんはじめ来賓・
教職員・在校生など約1,000名参加

(1) 講演会

- ・20回卒 本山和夫さん
(当時アサヒグループホールディングス株式会社
代表取締役副社長)

「恩師の思い出」

- ・23回卒 手塚雄二さん（東京芸術大学教授）
「大学受験の思い出」

- ・35回卒 田中裕二さん（タレント）が
ビデオレターにより参加

(2) 祝賀会 式典同日午後 杉並会館

PTA、同窓会の共催で現・旧教職員、PTA、
同窓生、14回卒の元自民党幹事長 中川秀直さん
など約120名参加

PTAコーラス部「ユンクス」と、高校1回卒
隆野豊子さん中心のコーラス「同窓会同好会」
が華を添え、1年生保護者の高橋聡さんがジャ
ズピアノを演奏

4. 記念文集

平成24年8月「井草会会報」に40編掲載
高女1回生（昭和20年卒）から高校40回卒（昭
和63年卒）までの寄稿を得、楽しい高校時代の
恩師・クラス仲間・部活の思い出満載

5. 井草祭

平成24年9月 井草今昔展とお茶席

- (1) 写真展 学校創立当時と学校周辺を92枚展示
- (2) 講演会 18回卒 八巻孝夫さん
石神井城の謎と「照姫伝説」
- (3) お茶席 4回卒岡安敏子さんのお茶席

6. 協賛金募集

平成22年8月「会報」で70周年事業に協力要請。

(1) 目標200万

22年度	435,000 (97件)
23年度	813,000 (136件)
24年度	694,000 (114件)
計	1,942,000

ご協力ありがとうございました。これからも
同窓会事業は継続いたします。引き続きよろし
くお願い致します。

(2) 記念誌の送付

協賛金3,000円以上ご協力いただいた方に送付

7. 東日本震災義援金

平成25年6月に20万円を現地行政に寄付予定



特集記事

井草会名簿管理について

— 名簿担当に聞く —

名簿担当：新井雅晴（13D S36年卒）
 インタビュアー：植木 謙（21D S44年卒）

同窓会活動において名簿発行とその管理は地味な作業ですが重要なテーマの1つです。同窓会間の交流の場において井草会では他校の同窓会よりも会員の住所判明率が高いことがわかっています。今回は、これまで名簿・会費委員長としてその管理を長年にわたって担当されてきた新井雅晴さんに、これまでの住所不明者の追跡などの管理や今後の課題などについてお聞きしました。

植木：現在井草会会員は約2万名ですが、その名簿管理はどのようにしているのでしょうか。

新井：サラトという名簿管理会社に委託しています。個人情報保護法の制定で、名簿発行が簡単でできなくなりましたが、名簿管理には会報の発送、クラス会開催時の名簿提供等大きな役割があります。

植木：会報を発送しているのは1万5千名強なので約5千名が住所不明ということになりますが、どのような状況で不明になるのですか？

新井：転勤、結婚等での転居がほとんどです。同窓会への連絡まで手が回らないようです。

植木：毎年何人ぐらいありますか？

新井：300～400名ぐらいの不明者が出ますが、新卒者が300名弱と住所判明者が100名前後ありますので、住所がわかっている会員数は1万5千名ぐらいで拮抗している状態です。

植木：住所不明者に対してどのようなフォローをしているのでしょうか？

新井：同窓会ではクラス会、同期会、OB/OG会を開くときに同窓会から援助金を出します。その時に友人同志の付合いや、クラブ関係で不明者の方を探してもらっています。また2年に一度開催される同窓会でも記念学年の幹事に同様のお願いをしています。

植木：記念学年を中心に実施している2年に1回の同窓会、クラス会やOB/OG会が不明者捜索に大変重要な役割を果たしていることがよくわかりました。

新井：さらに年1回発行している会報には、振込用紙の裏面を使った「FAX専用連絡用紙」を同封し、常時連絡しやすいように工夫しています。

植木：他校では会報の一部に、住所変更の場合は連絡してくれとだけ書いてあるだけで、会員がどこに連絡すればよいかわからないのが実情のようですね。

新井：また、過去には会報発行時に不明者を公開して探したり、異動通知はがきを同封するなどして不明者の減少に努めてきました。さらにインターネットやフリーダイヤルでの連絡もできるようにしています。

植木：インターネットの活用状況はどうでしょうか？

新井：現時点では井草会ホームページからの住所異動連絡の数はあまり多くありませんが、インターネットやメールが当たり前の世代が増えてくると思いますので、今後はこの分野の役割がもっと高くなると思います。現在はまだ紙や電話、FAX利用が主流になっています。

植木：このような形でいろいろなルートから一つ一つ不明者のデータを拾い集める作業を地道に行っていることが、他校に比べて住所判明率が高いことにつながっているのですね。ところで、名簿のメンテナンスはどうしているのですか？

新井：転居連絡のあった人、クラス会等で住所判明した人は赤字で新住所に変更し、紙でサラトに送ります。サラトで紙から電子媒体に修正し、名簿管理しています。

植木：転居情報を紙だけでなくメールで受領するとデータ修正も楽になりますね。

新井：年間を通しての作業で、一人で時間のある時にできるため、現状では紙だけで修正対応が可能です。しかし、インターネット等電子データが普及してきている現代のやり方に変えていくことも考えなければいけない時代に来ていると思います。

植木：都立高校同窓会の横の連絡会でも、どこの学校も入会金、年会費の問題で頭を悩ませています。井草会はどうな状況ですか？

新井：年会費を振り込んでくださる会員は約2千名、住所判明会員数の10%強です。同期会、クラス会、OB/OG会等が活発に行われなくなると、ますます不明者が多くなり、年会費振り込み会員数も10%を切るかもしれません。

植木：不明者の増大は同窓会存亡にもかかわる重要問題ですので、会員の要望をくみ上げた活発な同窓会活動を行う必要がありますね。

最後になりますが、本日は、普段あまり意識していない「井草会の名簿管理」のお話を伺って同窓会活動のヒントをいただきました。同じ問題を抱える他校の参考にもなるとされる有益なお話をいただき、ありがとうございました。

 広報委員会
報告

国際交流プログラム支援

井草会 広報委員長 原 京 (14G)

井草会では、母校に対する支援の柱の一つとして、広報委員会が窓口となり、国際交流プログラムの支援を行っています。

以前は、アメリカの高校生が在校生のお宅にホームステイして井草高校で勉強やスポーツなどに参加し、井草の生徒もアメリカでホームステイをして現地の学校へ通学するという形で国際交流をしていました。

現在は、三鷹市禅林寺が実施している「米国ワシントン高校生夏期日本研修プログラム」によって招聘されたワシントンDCの高校生たちと日本の高校生たちとの交流に、井草高校が協力するという形で実施しています。

昨年度は、ワシントンDCの4校から7名の生徒たちと引率の先生1名の8名に加えて、イギリスの高校生1名を受け入れ、7月17日から20日までの4日間、井草高校の生徒たちと交流しました。学校では、一緒に授業を受けたり、球技大会に参加したり、柔道や書道も体験しました。初めての書道にも臆することなく、書道部の生徒たちが用意してくれた自分の名前を日本の文字にしたものを書いたり、好きな言葉を日本語に直して書いたり、大変楽しそうでした。



交流日程には、近隣の都立高校訪問も組み入れられていて、7月18日に農芸高校と杉並工業高校を訪問しました。

農芸高校では、広い敷地内にある農場や実習施設、多種多様な植栽園場や、校内にある味噌やパン製造などの発酵醸造作業場を見学しました。杉並工業高校では、ロボット制作や電子技術などの専門分野の教室を見学しました。日本でも最先端に行く

極小ロボット開発実験やミニ車両実験など各自の研究テーマに取り組んでいる生徒たちと、米国高校生たちも具体的な作業や研究内容について質疑応答を交わし、有意義な時間を共有しました。

同窓会は、日本文化の紹介ということで、学校近くにお住まいの小山ご夫妻にご協力いただき、華道・茶道・紙漉き体験を支援しました。

華道は、それぞれ与えられた花を、お手本を見ながら活けました。慣れない華道でしたがとても楽しそうに取り組んでいました。

茶道は、同窓生の桑名さんの通訳に助けられ、引率の教師を交え全員が、慣れない正座をして茶道の亭主と客人の両方を体験しました。井草高校の生徒も参加して和気あいあいの交流体験でした。



紙漉きは、それぞれ自分の好きな草花・木の葉などを漉き入れ、慣れない手つきで和紙作りを体験しました。完成した和紙は、帰国時に

間に合うように乾燥させて仕上げていただき、全員が記念のお土産として持ち帰りました。

また、8月にオーストラリアへ短期留学する生徒と英語クラブの生徒を対象に、7月22日と23日の2日間、生きた英会話をということで、イギリスの高校生が英会話の講師を引き受けてくれました。

井草会では、こうした国際間の高校生同士の有意義な交流が長く続くようにと願い、今後も母校の国際交流活動を積極的に支援していきたいと思っています。

幹事総会報告

5月12日（日）、平成24年度定時幹事総会が母校視聴覚室で開催されました。当日は45名の出席に加え、委任状347名の計392名の出席となり、必要定足数50名を満たし、総会が成立しました。

月岡会長から、70周年記念事業が滞りなく実施されたとの挨拶がありました。学校側の挨拶として、新校長の宮本先生は「次世代のリーダーを着実に育てる井草高校としていきたい」との学校運営の抱負を語られました。また東副校長からは、土曜日授業が復活し、理科を強化するなど授業体制が強化されたこと、昨年から始まった海外（シンガポール）修学旅行の取り組みが報告されました。来賓の古澤PTA会長からは、「PTA、学校、同窓会の三者が自由な意見交換を通し、それぞれの活動がスムーズに行われるように努力していきたい」とのお話がありました。

議事については、平成24年度事業報告、決算報告があり、続いて25年度の事業計画・予算案などについての案件が審議されました。24年度の各委員会の実績については、会長が一括して報告を行い、満場一致で承認されました。

会計から24年度決算について報告があり、引き続き監事より正確に会計処理がなされていることの報告がありました。24年度予算について、当初「事務所開設準備金」を百万円計上することで予算化していましたが、これを「予備費」に科目変更し、「校章バッジ」を24年度に発注する予算として計上することが提案されました（実際の支出は25年度予算となります）。予算額の変更ではなく実績額での変更でもよいのではないかと意見も出ましたが、事務局側の説明により、最終的には原案どおり24年度決算が全員に承認されました。

25年度計画では、各委員会より活動計画および予算計画について説明がなされ、全会一致で承認されました。

その他の議題として、会則および規則の一部変更の提案がなされました。

会則については、「母校の支援」を同窓会の主たる活動として明確化すること、「名簿作成」は現状において発行が難しい状況（個人情報保護の扱いなど）に鑑み、「名簿作成」から「名簿管理」に変更することの提案がありました。

規則については、井草会弔慰金及び謝金等支出についてその内容を明確化する改正案が提出され、会則、規則の改正については、共に満場一致で承認されました。

以上のとおり、定時総会の議題はすべて原案通り承認され、無事閉会いたしました。

平成24年度決算・25年度予算

収 入		(単位：円)		
項 目		H24年度予算	H24年度決算	H25年度予算
繰 越 金		2,399,940	2,399,940	2,661,488
入 会 金		947,160	947,160	1,112,000
会 費 収 入		3,070,000	3,274,915	3,000,000
寄 付 収 入		430,000	694,286	650,000
同窓会参加費※1				2,900,000
雑 収 入		10,000	3,149	10,000
計		6,857,100	7,319,450	10,333,488

支 出		(単位：円)		
項 目		H24年度予算	H24年度決算	H25年度予算
会 報 委 員 会 費		2,500,000	2,434,184	2,450,000
会 報 通 信 費		1,150,000	1,123,624	1,150,000
会 報 印 刷 費 ※ 2		900,000	875,130	675,000
その他印刷、代行費		350,000	334,150	525,000
委 員 会 活 動 費		100,000	101,280	100,000
事 業 委 員 会 費		1,020,000	736,196	1,660,000
井 草 祭 参 加 費		150,000	169,203	180,000
委 員 会 活 動 費		130,000	27,860	80,000
クラブ推進分科会活動費		10,000	0	50,000
井草高校活動費助成金		300,000	300,000	1,140,000
70周年記念事業費		430,000	239,133	210,000
同 窓 会 委 員 会 費		800,000	635,527	4,540,000
同期会、クラス会等援助金		600,000	460,680	600,000
委 員 会 活 動 費		200,000	174,847	100,000
同窓会開催費用※1		0	0	3,400,000
同窓会費振込用紙印刷代		0	0	400,000
同窓会費振込手数料		0	0	40,000
広 報 委 員 会 費		368,000	237,470	360,000
インターネット委員会費		100,000	86,080	200,000
事 務 担 当 費		600,000	511,808	1,000,840
名簿会費活動費		200,000	79,558	0
委 員 会 活 動 費		400,000	432,250	600,000
年会費振込用紙印刷代		0	0	250,000
年会費振込手数料		0	0	150,000
入会金振込手数料		0	0	840
会 計 担 当 活 動 費		20,000	16,697	20,000
井草会事務所開設準備金		0	0	0
予 備 費		1,449,100	0	102,648
次 年 度 繰 越		0	2,661,488	0
計		6,857,100	7,319,450	10,333,488

財産目録

(平成25年3月31日現在) 単位：円

名簿積立金	700,000
井草会事務所開設準備金	15,500,000

※1 今年度から同窓会参加費及び同窓会開催費用の項目を追加。

※2 平成25年度から会報の印刷費は発送代行費に分類されるものを除き、印刷費用だけを計上。



井草会掲示板

1 井草祭へのお誘い (事業委員会)

開催日時：9月14日(土)・15日(日)
10:00~15:00

- ・同窓会では、本年の井草祭に於いて「2013同窓会」の写真を展示いたします。同窓生憩いの場所となるように、歓談の場を用意して皆様のお越しをお待ちしています。
- ・初心者向けパソコン教室 希望者にパソコンで井草会ホームページの開き方などを解説します。

ホームページのアクセスは Click

2 創立70周年記念協賛金寄付者名簿 平成25年3月31日現在 (事務局)

下記の方々から貴重なご寄付をいただきました。有効につかわせていただきます。ありがとうございました。

(敬称略、単位：千円)

高女1	宇部満寿子	3	高校12	尾崎政雄	3	高校15	熊谷和子	8	高校30	伊集院直子	3
	末永京子	10		浅田千恵	1		小泉彰	3		畑田明子	1
高女2	須貝照子	3		細野恭代	3		小野節子	3		山崎信彦	1
高女3	辻タケ子	3		内藤千与孝	1	高校16	匿名	30		青木章	1
高校2	渡辺旭	8		中林保彦	3	高校17	山田泰子	10		大場肇	3
高校3	相沢智子	3		細谷春來	1		武石彰人	3	高校31	滝川直	10
	藤廣洋子	3		八百洋子	2		矢口静世	3		橋本佳幸	3
	中村公	3	高校13	斉藤勲	1		島田祐亨	3		藤吉和彦	10
	中山京子	10		富岡和子	8		月岡健一	5		阿部恵	1
高校4	浅賀好子	18		岡部隆行	3		渡辺利之	5	高校32	藤川由美	1
	岸とみよ	3		関根成憲	3	高校18	八巻孝夫	15	高校33	三澤秀樹	3
	中村京子	3	高校14	岸本清見	3		千葉優子	3		清水弘道	2
	河上喜美江	3		松本洋子	3		二ノ宮きよ子	5	高校34	高野郁人	1
	遠藤千代子	8		林健一	3	高校20	野崎暁	3		幡野佐	3
	岩崎珠子	5		G組クラス会有志	5		村田直樹	8		櫻井美和	3
高校5	大西久江	3		斎藤靖子	3		大山吉久	3	高校35	福沢光一	3
高校6	遠矢良隆	3		大山恵子	3	高校21	田中英明	3		新妻成一	18
	沢田祐二	8		行川雅子	3		植木謙	3		千葉知栄子	8
	荒井淑子	3		原京	5	高校22	宮本静代	10	高校38	茂木祥子	3
高校7	中井淑子	8	高校15	星野善行	3		戸倉賢二	8		古池頼子	3
	谷明	10		今井千恵子	3	高校23	千葉隆一	3	高校41	匿名	3
	渡辺きさ子	8		堺公子	3		菊池史彦	8		吉浦和孝	3
高校8	瀬尾行弘	15.5		中村幸子	3	高校26	原島幸子	3	高校42	岡澤周子	1
高校9	山口直子	3		川添洋子	3		杉野俊哉	1		野々部有	1
	渡辺正義	8		三井康子	3		岩倉昭博	3		高橋聖子	2
	木村忠正	8		E組クラス会有志	15	高校27	別所嘉彦	4	高校51	葛城英彦	3
	野口享子	8		唐木保之	8		仰木明	3	高校52	山崎徳一	1
高校10	関口素子	1				高校28	伊藤立美	30	高校54	豊永貴弘	5
	黒田俊宏	3					松谷雅子	3			

寄付者合計111名 2団体、565,500円

恩師の訃報

刀 禰 勇 己 先生 (S53 ~ H2年 在職) 社会
竹 本 昭 先生 (S52 ~ H2年 在職) 英語
佐 藤 紀 男 先生 (S38 ~ S41年 在職)
藤 本 勤 先生 (H2 ~ H4年 在職)
橋 口 年 長 先生

編集後記

46号の会報は、従来とは少し趣を変えページ建て
も16頁とし新企画、記事内容の充実化を制作方針と
して作りました。これからの会報作りに少しでも新風
を吹き込みより良い会報づくりに励んでいきたいと思
います。 植木 謙 (21D)

井草会事務局：177-0044 練馬区上石神井2-2-43 井草高校内 TEL/FAX 0120-066-193
郵便為替：00120-4-84359 ホームページ：http://www.igusakai.org